

津久井総合事務所を中心とした
公共施設のあり方を考える市民対話ワークショップ
報告書

令和4年3月
相模原市

津久井総合事務所を中心とした
公共施設のあり方を考える市民対話ワークショップ
報告書報告書 目次

1. 開催概要-----	1
(1) 開催の目的-----	1
(2) プログラム内容-----	1
(3) ワークショップ参加者・運営体制-----	2
2. 各回のワークショップの概要-----	3
(1) 第1回ワークショップ-----	3
(2) 第2回ワークショップ-----	1 1
(3) 第3回ワークショップ-----	2 1
(4) 第4回ワークショップ-----	2 8
3. まちかどパネル展の概要-----	
(1) 開催概要-----	3 9
(2) 開催結果-----	4 0
4. ワークショップ・まちかどパネル展を終えて-----	4 6



第4回ワークショップの最後に各回の成果物・学生資料を背景に参加者の皆さん、本村市長、芝浦工業大学の志村教授、学生の皆さんで記念撮影を行いました。

1. 開催概要

(1) 開催の目的

津久井総合事務所は、旧津久井町役場として昭和39年に建設してから築57年が経過し、老朽化による建て替えの検討時期を迎えています。

津久井総合事務所は、津久井地区の行政サービスの中心であり、周辺には津久井保健センターや津久井中央公民館などの公共施設も集まっており、それぞれ施設の利用や建物の老朽化の課題を抱えています。

本ワークショップは、地域の皆さまとともに、これからの津久井総合事務所、周辺の公共施設に期待することや施設での活動イメージを考え、将来（未来）のビジョンを共有することで、施設の再編・再整備に向けた構想や計画につなげていくことを目指すものです。

(2) プログラム内容

回数	内容
第1回 令和3年 10月2日（土）	<u>○テーマ</u> ： <u>今を知って、津久井地区を語ろう！</u> <ul style="list-style-type: none">津久井の魅力や公共施設への想いを描く公共施設マネジメントの取組と津久井地区の現状について
第2回 令和3年 10月30日（土）	<u>○テーマ</u> ： <u>施設を見て、“今”を深掘りしよう！</u> <ul style="list-style-type: none">ロールプレイによる施設見学とまちあるきロールプレイによる施設見学やまちあるきで気づいたことのまとめ
第3回 令和3年 11月20日（土）	<u>○テーマ</u> ： <u>再編のコンセプトを考えよう！</u> <ul style="list-style-type: none">第1・2回振り返り（課題・魅力の再確認）総合事務所周辺を中心とした新しい公共施設のあり方の検討
第4回 令和3年 12月18日（土）	<u>○テーマ</u> ： <u>提案のまとめ</u> <ul style="list-style-type: none">第3回までの振り返り総合事務所を中心とした新しい公共施設のあり方のまとめ本ワークショップのまとめと今後に向けて

(3) ワークショップ参加者・運営体制

ア 参加者の構成と運営体制

今回のワークショップは、地域団体や関連団体からの推薦のほか、津久井高等学校の生徒、施設利用者、一般公募など、様々な立場や世代の方に参加してもらいました。

参加者をA～Dの4グループ※に分け、グループワークを行いました。

※第3回、第4回はA～Cの3グループに再編

参加者の構成 (23)

津久井地区まちづくり会議 (3)
 津久井地区自治会連合会 (3)
 津久井商工会 (1)
 津久井青年会議所 (1)
 P T A 連絡協議会 (1)
 地区社会福祉協議会 (1)
 津久井高等学校 (6)
 施設利用者・公募市民 (7)

ファシリテーター

芝浦工業大学建築学部建築学科教授
 志村 秀明氏

テーブルファシリテーター

①芝浦工業大学 大学院生
 ②相模原市職員

運営事務局

相模原市 経営監理課
 緑区役所区政策課
 津久井まちづくりセンター
 (支援)
 ファインコラボレート研究所

イ ファシリテーター、芝浦工業大学の紹介

○ファシリテーター

志村 秀明 教授

1968年東京都生まれ

芝浦工業大学

建築学部建築学科教授

博士(工学)、一級建築士

専門分野：まちづくり、市民参加、都市計画



○芝浦工業大学学生 (地域デザイン研究室)

1	芝浦工業大学大学院生 1年	岩間 康樹
2	芝浦工業大学大学院生 1年	鈴木 優太
3	芝浦工業大学大学院生 1年	平木 僚太郎
4	芝浦工業大学大学院生 1年	渡邊 優
5	芝浦工業大学大学院生 1年	徐 佳綺
6	芝浦工業大学大学生 4年	真下 あい

2. 各回のワークショップの概要

(1) 第1回ワークショップ

- ◆ 第1回テーマ 「今を知って、津久井地区を語ろう！」
- ◆ 開催日時 令和3年10月2日(土) 14時00分～16時00分
- ◆ 開催場所 津久井中央公民館3階 研修室A・B・C
- ◆ 参加者 23名
- ◆ プログラム

時間	内容
14:00～14:15 (15分)	<あいさつ、自己紹介、ワークショップの目的> ・主催者及びファシリテーターのあいさつ ・参加者の自己紹介 ・ワークショップの趣旨説明
14:15～14:55 (40分)	<グループワーク> ・ファシリテーター・学生から作業の流れを説明(5分) ・津久井の魅力や公共施設への想いを描く(20分) ・グループ内で共有(15分)
14:55～15:05 (10分)	<休憩>
15:05～15:40 (35分)	<発表・意見交換> ・グループごとに発表、質疑応答と意見交換 (5分×4グループ) <芝浦工業大学学生からの発表> ・津久井の魅力と課題、歴史(15分)
15:40～15:50 (10分)	<公共施設マネジメントの取組と津久井地区の現状について> ・公共施設マネジメントの取組、津久井地区及び対象施設の 現状等について説明
15:50～15:55 (5分)	<まとめ> ・ファシリテーターによる今回のまとめ
15:55～16:00 (5分)	・次回の内容、事務連絡、アンケート記入

ア 当日の流れ

(ア) グループワーク

津久井の魅力や公共施設の思い出などを画用紙にイラストで描きました。



(イ) 発表・意見交換

グループごとにまとめた成果を発表しました。



(ウ) 芝浦工業大学学生からの発表

事前フィールドワークで調べた津久井の魅力や課題、歴史等について発表しました。

【内容】
津久井地区は山や湖、川など暮らしの近くに自然があること、文化や歴史的な観光資源があることなどが魅力であると感じた。津久井湖の整備前と整備後で、交易場所や住宅場所などに大きな変化があった。



(エ) 公共施設マネジメントの取組と津久井地区の現状について

市から、公共施設マネジメントの取組、津久井地区の現状等について説明しました。



イ 各グループの成果

Aグループ



<主な発表内容>

- 津久井湖から上がる花火や冬の観光センターのイルミネーションなど津久井の四季が魅力。
- 小学校の頃に、津久井中央公民館で開催された書道展に作品を出品した。
- 子どもの頃に津久井湖観光センターに遊びに来た。
- 串川地域センターで吹奏楽の発表をした。
- 津久井中央公民館で人形劇をした。
- 津久井生涯学習センターに、子どもの剣道の送り迎えをよくしていた。

Bグループ



<主な発表内容>

- 30階建てのシンボリックな建物を作りたい。
- フラダンスをするイベント会場がほしい。
- 山で競歩大会を行いたい。
- 子どもの頃に公共施設で怒られたことがある。
- 打ち上げ花火が湖に反射してきれいだった思い出がある。
- お茶ができるカフェを作りたい。
- 戦隊ヒーローが好きなので、イベントができるスペースがほしい。
- 気軽に運動ができる体育館など、いつでも自由に入れて運動不足を解消できる場所がほしい。

Cグループ



<主な発表内容>

- 津久井には自然が多く、幼いころに山や川で遊んだ。
- 実際に津久井中央公民館のホールを使って日本舞踊の発表をした。
- 健康のために高齢者が利用できるプールがあると良い。

Dグループ



<主な発表内容>

- 津久井の自然豊かな四季。津久井は一年中いい景色が見える。
- 道志川で幼い頃に水遊びをした。できあがったものでないもので遊んだ。
- 津久井湖の湖上祭は、楽しみや彩りを与えてくれる。自然との共生が魅力。
- 自然を生かした里山での遊びをした。乳児からお年寄りまで使える施設がほしい。
- 道の駅が道志のほうにはあるが、こちら（中野）の手前にもあると良い。
- 里山の思い出。子どもたちが来てくれるし、道がないと仲間に話したら、車いすが通りやすい道を作ってくれた。
- 公共施設という話だったが、自然も公共の一つとして捉えている。公共施設はみんなの心の中にキラキラした思い出として残ると、みんな戻ってくると思った。

志村先生：第1回ワークショップのまとめ

- 自然に関する意見が多かったことから、自然は津久井地区の特徴であり、津久井地区の公共施設を考える上で重要になることが認識できました。
- 公共施設の思い出や利用は堅いイメージがあるが、発表会であるとか、こういうことをやりたい、などの思いがあることを確認できました。
- 津久井地区は観光とも関係しているの、公共施設の維持と観光も考えていく必要があります。
- 未来に向けて、想いとしてこうあってほしいという意見もありました。
- 歴史から見ると、それぞれの時代の状況に町の人々が考えて対応していたことから、個からみんなで作った公共が生まれてきたことが分かります。
- 地元の高校生や大学生、地元の方々同士など世代を超えて作業をすると、新たな気づきがあります。
- 公共施設という難しい課題と向き合い、楽しみながらワークショップに取り組めたらと思います。



(2) 第2回ワークショップ

- ◆ 第2回テーマ 「施設を見て、“今”を深掘りしよう！」
- ◆ 開催日時 令和3年10月30日(土) 14時00分～16時30分
- ◆ 開催場所 津久井中央公民館3階 研修室A・B・C
- ◆ 参加者 22名
- ◆ プログラム

時間	内容
14:00～14:05 (5分)	<p><あいさつ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーターのあいさつ ・本日のプログラムの説明
14:05～15:10 (65分)	<p><ロールプレイによる公共施設見学(50分)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者を「利用者」と「施設管理者」の役割に分け、ロールプレイ方式で施設を見学 ①総合事務所 ②中央公民館・老人福祉センター ③保健センター (15分×3施設+移動5分) <p><まちあるき(15分)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2グループに分かれて周辺まちあるき
15:10～15:20 (10分)	<休憩>
15:20～15:30 (10分)	<p><芝浦工業大学学生からの発表></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中野の魅力と地形(10分)
15:30～16:00 (30分)	<p><グループワーク></p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設見学で感じた施設の魅力や課題、解決策などをまとめる(15分) ・まちあるきで感じたことをまとめる(15分)
16:00～16:20 (20分)	<p><発表・意見交換></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに発表、質疑応答と意見交換(5分×4グループ)
16:20～16:25 (5分)	<p><まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーターによる今回のまとめ
16:25～16:30 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の内容、事務連絡、アンケート記入

ア 当日の流れ

(ア) 施設見学・まちあるき

① ロールプレイによる公共施設見学

参加者を「利用者」と「施設管理者」の役割に分け、役になりきって、津久井総合事務所・津久井中央公民館・津久井老人福祉センター・津久井保健センターを見学。実際の施設管理者から話を聞きながら、施設の現状や課題を考えました。



② まちあるき

AグループとCグループは相模原西メディカルセンター急病診療所を通る青コース、BグループとDグループは中野神社や相模原赤十字病院を通る茶色コースを歩き、気づいたことや感じたことを考えました。(当日は、時間の都合上、茶色コースを短くしました)

青コース



茶色コース



(イ) 芝浦工業大学学生からの発表

中野エリアの魅力や地形について、事前フィールドワークのまとめと空間分析を用いて発表しました。

【内容】

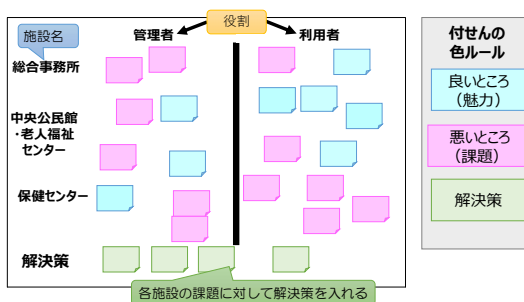
中野エリアの道路は不自然に蛇行した道や道幅が変化していた。中野エリアは、典型的な河岸段丘で、昔の水路や地形に合わせて現在の道路や公共施設が建設されたと考えられる。



(ウ) グループワーク

① 施設をみて気づいたことをまとめる

施設ごとに「管理者」・「利用者」の役割で感じたことを付せんに記入しました。
グループごとに、課題の「解決策」や、施設をより良くしたり利用したくなるような「アイデア」を考えました。



②まちあるきで気づいたことをまとめる

周辺まちあるきを通じて感じたことを付せんに記入しました。

マップに付せんに貼りながら、まちあるきから見てきたことをまとめました。



(エ) 発表・意見交換

グループごとにまとめた成果を発表しました。

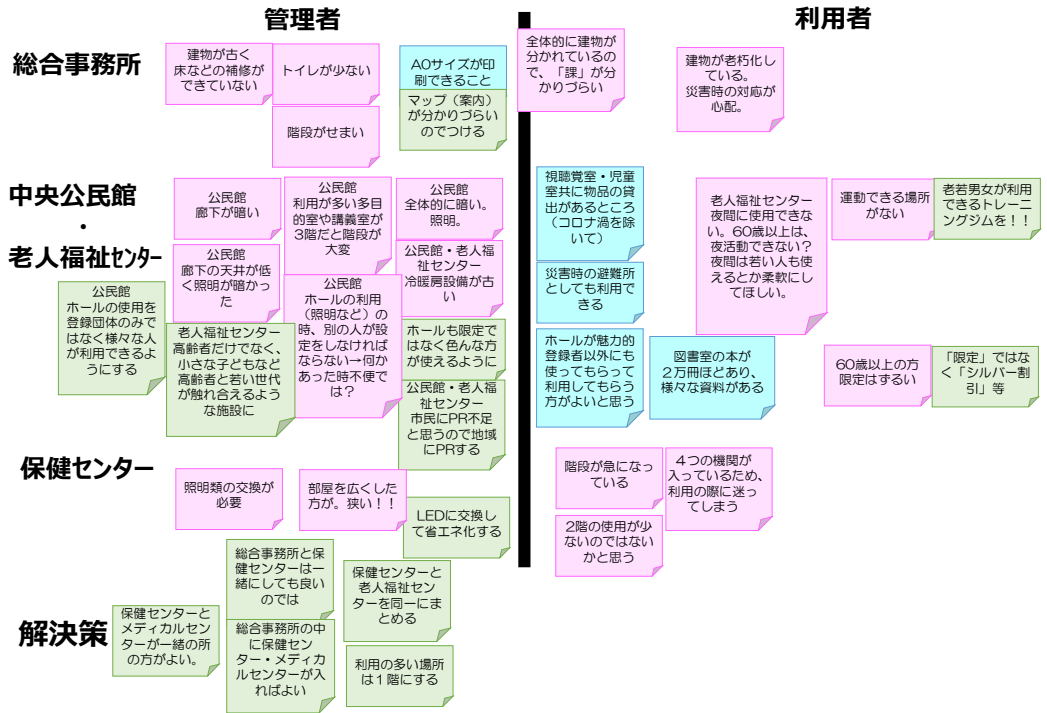


イ 各グループの成果

Aグループ

施設見学：Aグループ

付せんの色ルール	良いところ (魅力)	悪いところ (課題)	解決策
----------	------------	------------	-----



まちあるき (青コース)：Aグループ

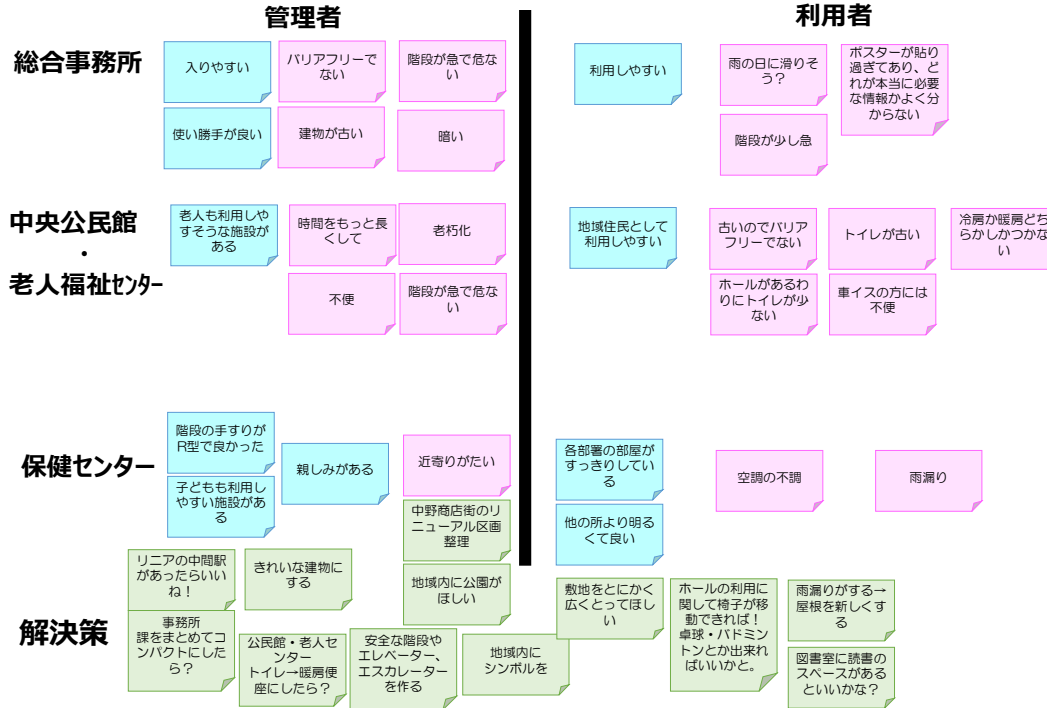
付せんの色ルール	良いところ (魅力)	悪いところ (課題)	解決策
----------	------------	------------	-----



Bグループ

施設見学：Bグループ

付せんの色ルール 良いところ (魅力) 悪いところ (課題) 解決策



まちあるき（茶色コース）：Bグループ

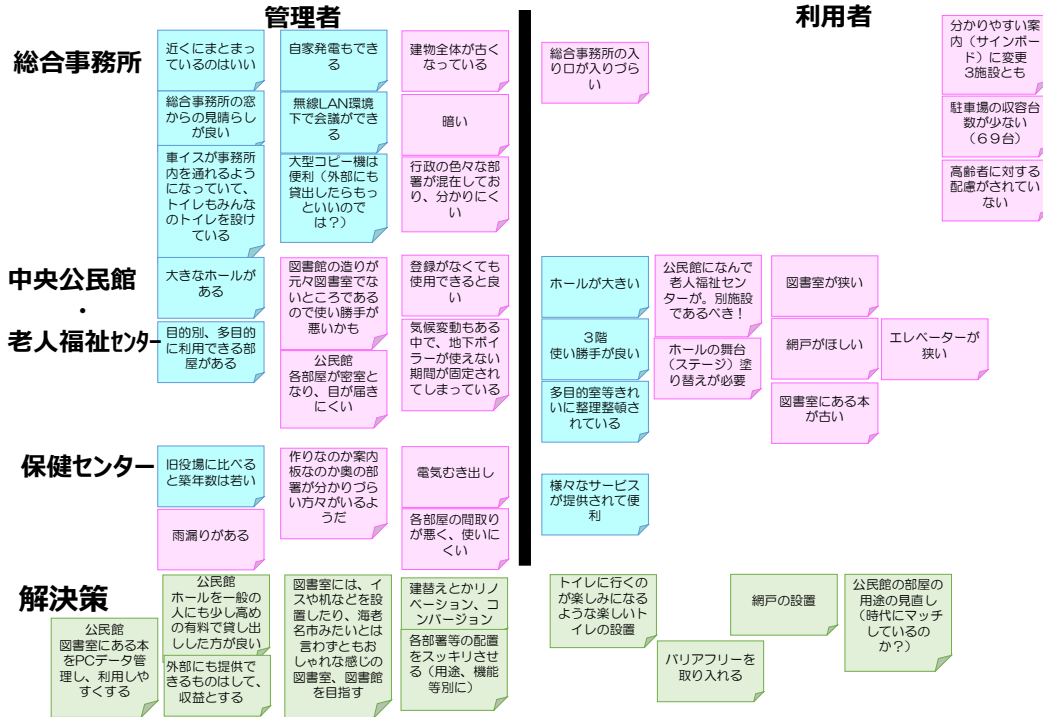
付せんの色ルール 良いところ (魅力) 悪いところ (課題) 解決策



Cグループ

施設見学：Cグループ

付せんの色ルール
 良いところ (魅力)
 悪いところ (課題)
 解決策



まちあるき（青コース）：Cグループ

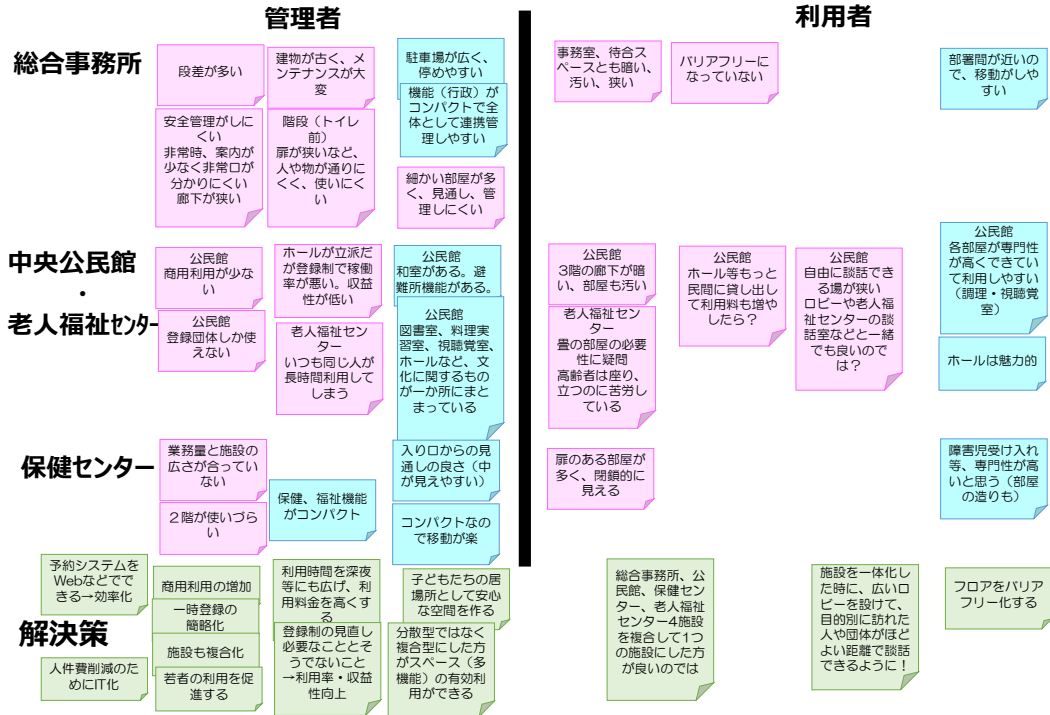
付せんの色ルール
 良いところ (魅力)
 悪いところ (課題)
 解決策



Dグループ

施設見学：Dグループ

付せんの色ルール 良いところ (魅力) 悪いところ (課題) 解決策



まちあるき (茶色コース) : Dグループ

付せんの色ルール 良いところ (魅力) 悪いところ (課題) 解決策



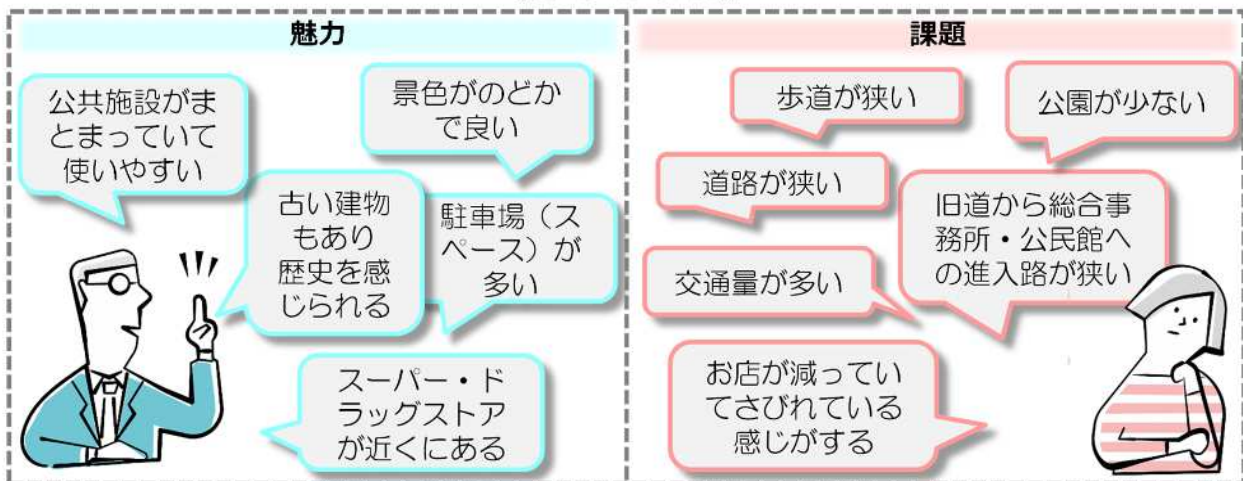
第2回ワークショップ意見まとめ

《公共施設見学》

(グループ)

施設	魅力	課題	解決策
津久井総合事務所	<ul style="list-style-type: none"> 車イスが事務所内を通れるようになっていて、トイレもみんなのトイレを設けている (A) 大型コピー機は便利 (C) 駐車場が広く、止めやすい (D) 	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に建物が分かれているので「課」が分かりづらい (A) 建物が古い (B) 階段が少し急 (B) バリアフリーになっていない (B) 	<ul style="list-style-type: none"> 総合事務所と保健センターは一緒にしても良いのでは (A) 事務所の課をまとめてコンパクトにしても良いのでは (B)
津久井中央公民館・津久井老人福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> 大きなホールがある (B) 目的別、多目的に利用できる部屋がある (C) 図書室、料理実習室、視聴覚室、ホールなど、文化に関するものが一か所にまとまっている (D) 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館の廊下の天井が低く照明が暗かった (A) 利用が多い多目的室や講義室が3階だと階段が大変 (A) ホールに対してトイレが少ない。車イスには不便 (B) 公民館は登録団体しか使えない (D) 	<ul style="list-style-type: none"> 利用の多いところは1階にする (A) 図書室に読書のスペースがあると良い (B) 公民館のホールは、料金を高くして、一般の人にも貸し出しの方が良い (C) 公民館の部屋の用途の見直し (時代にマッチしているのか?) (D)
津久井保健センター	<ul style="list-style-type: none"> 親しみがある (B) 他の施設に比べて明るい (B) 旧役場に比べると築年数は若い (C) コンパクトなので移動が楽 (D) 	<ul style="list-style-type: none"> 照明類の交換が必要 (A) 近寄りがたい (B) 雨漏りがある (C) 各部屋の間取りが悪く使いにくい (C) 	<ul style="list-style-type: none"> 保健センターと老人福祉センターを一つにまとめる (A) 保健センターとメディカルセンターが一緒の所の方が良い (A)

《まちあるき》



志村先生：第2回ワークショップのまとめ

- 公共施設の見学では、これまでにかなり施設の複合化や用途変更をしていて、窮屈な状況だと感じる一方、コンパクトで使いやすいという皆さんの意見も参考になりました。
- まちあるきは、実際に歩きながら、どこで子どもが遊んでいて、どこに抜け道がある、昔はお店があったなど、たくさん情報を出していただけて良かったです。
- 今回出していただいた情報をしっかりまとめ、老朽化した総合事務所の建て替えにあわせ、これからの公共施設をどうしていくか、第3回と第4回で考えていきましょう。



(3) 第3回ワークショップ

- ◆ 第3回テーマ 「再編コンセプトを考えよう！」
- ◆ 開催日時 令和3年11月20日(土) 14時00分～16時00分
- ◆ 開催場所 津久井総合事務所3階 会議室1・2
- ◆ 参加者 16名
- ◆ プログラム

時間	内容
14:00～14:05 (5分)	<あいさつ> ・ファシリテーターのあいさつ
14:05～14:15 (10分)	<第1・2回振り返り> ・第1・2回振り返り(課題・魅力の再確認)
14:15～15:15 (60分)	<グループワーク> ・ファシリテーター・学生から作業の流れを説明(5分) ・総合事務所周辺を中心とした新しい公共施設のあり方の検討(55分)
15:15～15:25 (10分)	<休憩>
15:25～15:30 (5分)	<芝浦工業大学学生からの発表> ・津久井総合事務所周辺の交通状況とまちの提案(5分)
15:30～15:50 (20分)	<発表・意見交換> ・グループごとに発表、質疑応答と意見交換 (5分×4グループ)
15:50～15:55 (5分)	<まとめ> ・ファシリテーターによる今回のまとめ
15:55～16:00 (5分)	・次回の内容、事務連絡、アンケート記入

ア 当日の流れ

(ア) グループワーク

総合事務所周辺を中心とした公共施設のあり方について、「キャラクターカード」の役になりきるロールプレイ方式で、いろいろな視点でアイデアを出し合いました。

出てきたアイデアを付せんに書いて地図上に配置し、最後にグループワークの成果にタイトル（再編等のテーマ）をつけました。

『利用者 キャラクターカード』の内容一覧
① 赤ちゃんが生まれたばかりの家族
② 小学生の子どもを持つ親
③ 中野小学校、中学校に通う子ども
④ 地域で働く、働き世代
⑤ アクティブに活動するシニア世代
⑥ 移動に車いすが必要な人

『管理者 キャラクターカード』の内容一覧
① 総合事務所管理者
② 中央公民館・老人福祉センター管理者
③ 保健センター管理者
④ 緑区役所（定住促進・地域活性化）
⑤ 財政課（財源確保）
⑥ 経営監理課（公共施設マネジメント）



(イ) 芝浦工業大学学生からの発表

津久井総合事務所周辺の交通状況とまちの提案について発表しました。

【内容】

交通量調査を5箇所（各20分間）で実施。自動車やバイク・自転車は国道の方が旧道に比べて圧倒的に多く、歩行者に関しては国道、旧道ともに極めて少ない結果となった。

今までのフィールドワークやワークショップの内容を基に、「楽しく歩いて人々が集う中野」というテーマで、中野エリアがどのようになったら良いかを提案した。



(ウ) 発表・意見交換

グループごとにまとめた成果を発表しました。

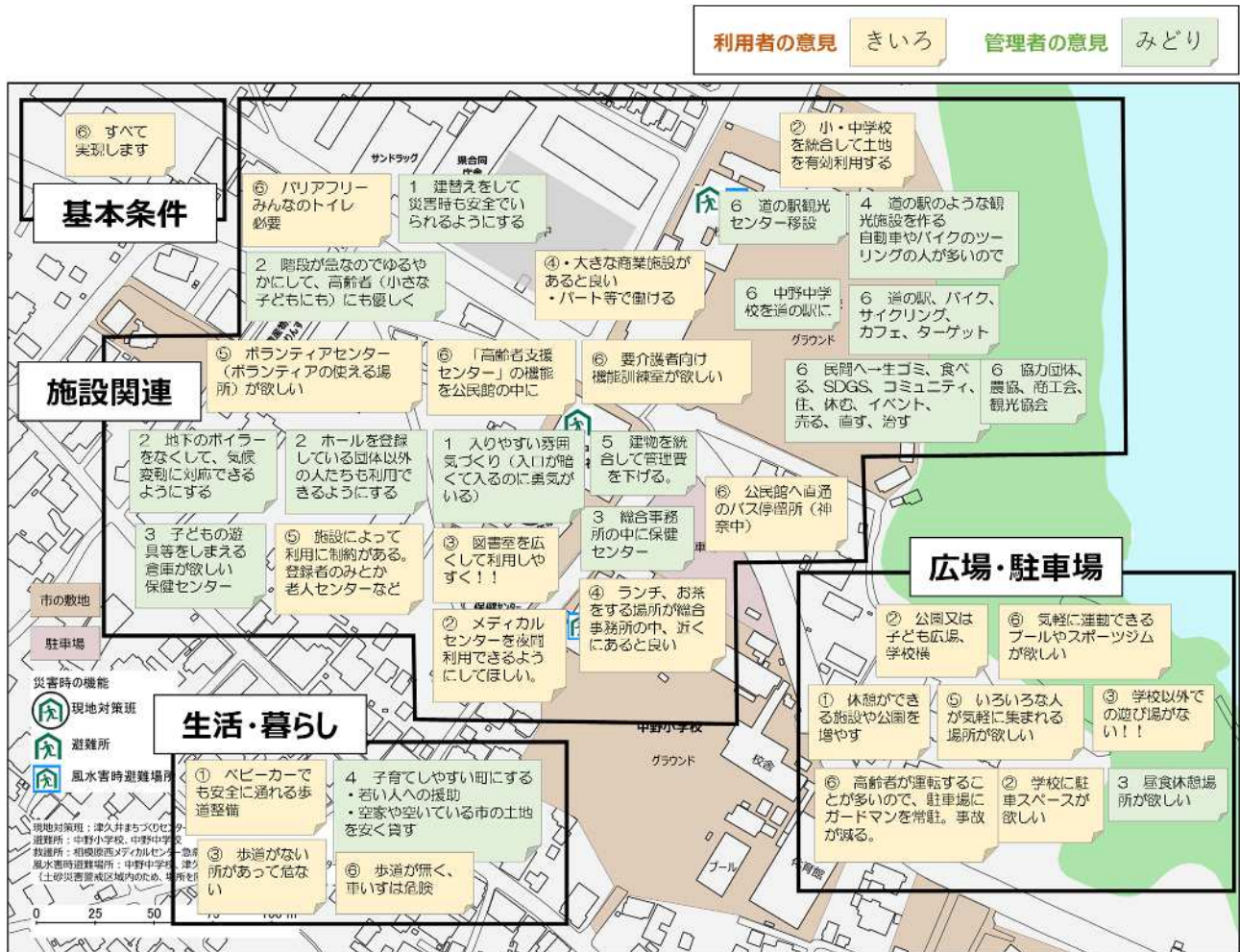


イ 各グループの成果

Aグループ

Aグループ

総合事務所を中心に官民でつくる活気のあるまちづくり



<主な発表内容>

分類	キャラクター	内容
施設関連	利用者	バリアフリー、みんなのトイレが必要。高齢者や小さな子どもにも優しい施設を。図書室を広くして利用しやすく！！「高齢者支援センター」の機能を公民館の中に。
	管理者	総合事務所の中に保健センター。建物を統合して管理費を下げる。道の駅のような観光施設を作る。（ツーリングをターゲット）
生活・暮らし	利用者	歩道がない所があって危ない。車いすは危険。ベビーカーでも安全に通れる歩道整備。
	管理者	子育てしやすい町にする。若い人への援助。空家や空いている市の土地を安く貸す。
広場・駐車場	利用者	学校以外での遊び場がない！！休憩ができる施設や公園を増やす。学校に駐車スペースが欲しい。
	管理者	昼食休憩場所が欲しい。

Bグループ

Bグループ

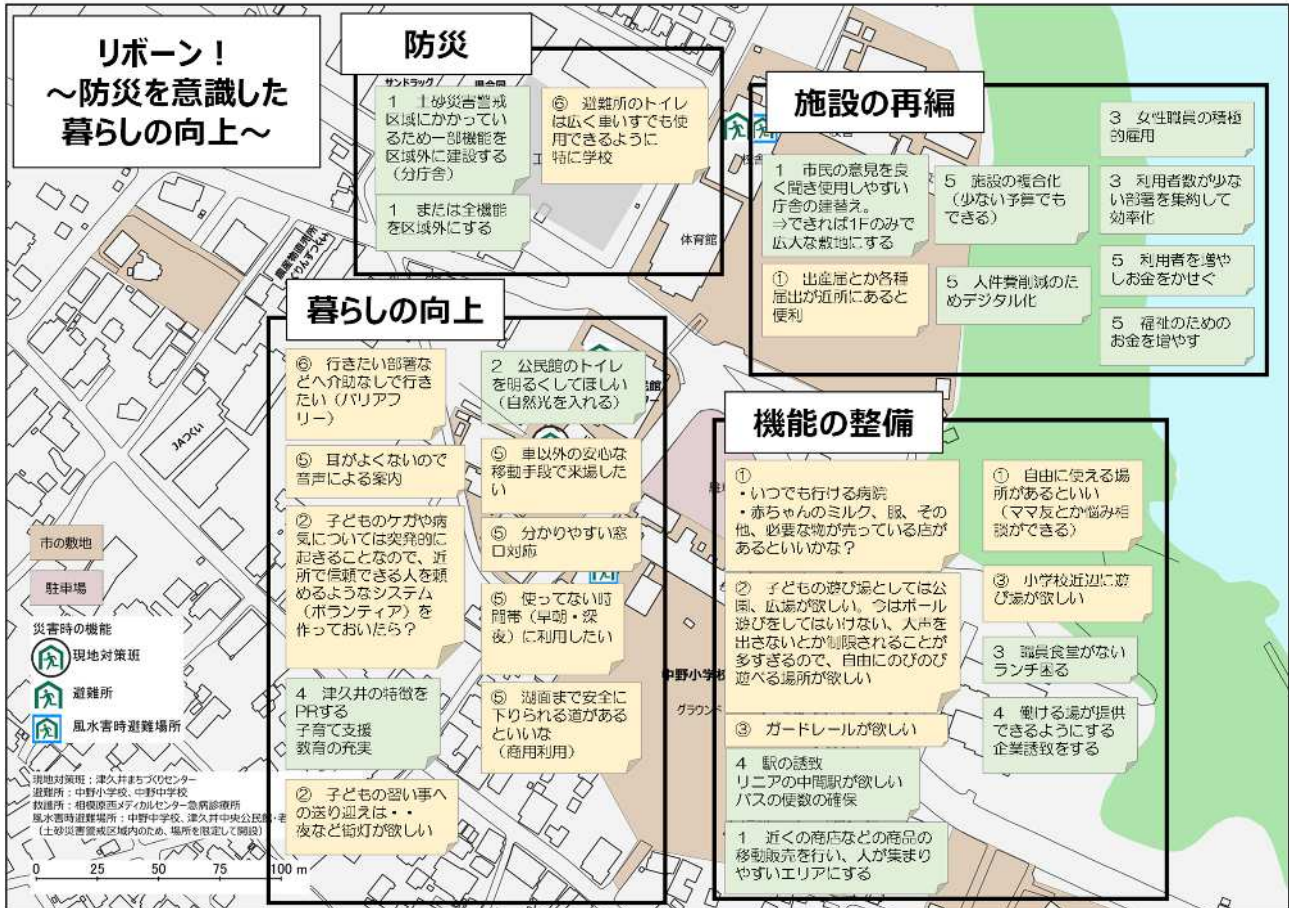
リボーン！～防災を意識した暮らしの向上～

利用者の意見

きいろ

管理者の意見

みどり



<主な発表内容>

分類	キャラクター	内容
防災	利用者	避難所のトイレは広くして、車いすでも使用できるようにしたい。
	管理者	土砂災害警戒区域にかかっているため、一部機能を区域外に建設する（分庁舎）。
施設の再編	利用者	出産届とか各種届出が近所にあると便利。できれば1階のみで広大な敷地にする。
	管理者	利用者が少ない部署を集約化。施設の複合化。人件費削減のためデジタル化。
暮らしの向上	利用者	行きたい部署などへ介助なしで行きたい。耳がよくないので音声による案内。使っていない時間帯（早朝・深夜）に利用したい。
	管理者	公民館のトイレを明るくしてほしい（自然光を入れる）。
機能の整備	利用者	小学校近辺に遊び場が欲しい。ガードレールが欲しい。
	管理者	近くの商店などの商品の移動販売を行い、人が集まりやすいエリアにする 職員食堂がないランチ困る。

Cグループ

Cグループ

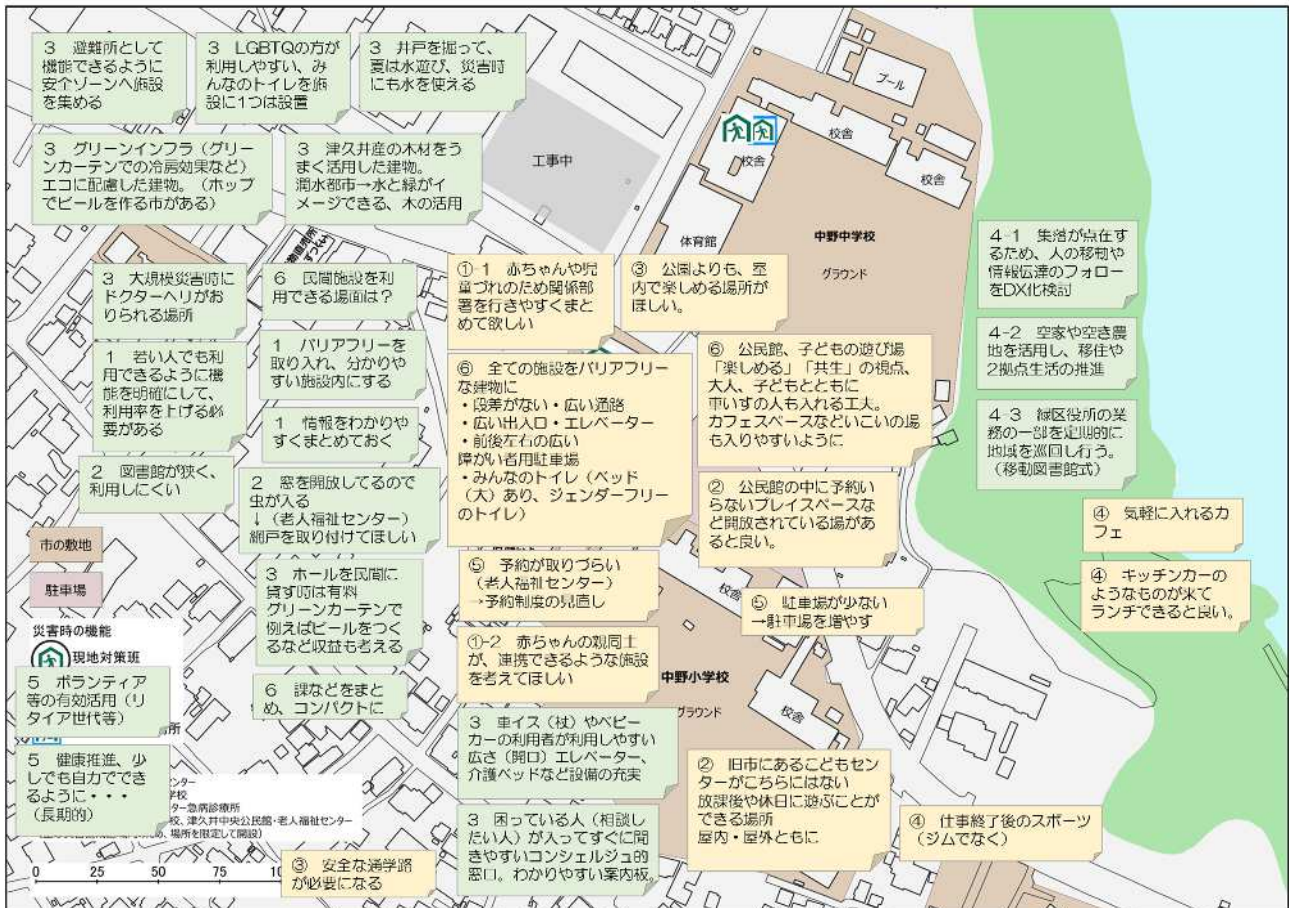
行ってみたい住んでみたい～水と緑の魅力を感じる公共施設～

利用者の意見

きいろ

管理者の意見

みどり



<主な発表内容>

キャラクター	内容
利用者	<ul style="list-style-type: none"> 赤ちゃんの親同士が、連携できるような施設を考えてほしい。 LGBTQの方が利用しやすいみんなのトイレを設置。 「楽しめる」「共生」の視点をもった公民館、子どもの遊び場。 車いすの人もカフェスペースなどのいこいの場にも入りやすい工夫。 キッチンカーのようなものが来てランチできると良い。 予約が取りづらい（老人福祉センター）→予約制度の見直し。 駐車場が少ない→駐車場を増やす。
管理者	<ul style="list-style-type: none"> グリーンインフラ（グリーンカーテンでの冷房効果など）エコに配慮した建物。 困っている人（相談したい人）が入ってすぐに聞きやすいコンシェルジュ的窓口。わかりやすい案内板。 津久井産の木材をうまく活用した建物。潤水都市→水と緑がイメージできる、木の活用。 空家や空き農地を活用し、移住や2拠点生活の推進。 ボランティア等の有効活用（リタイア世代等）

志村先生：第3回ワークショップのまとめ

- 第3回は発想が広がる楽しい作業で、各グループから素晴らしいアイデアが出されました。出された意見を全て実行するのは難しいですが、重要なキーワードが出されていたので、大切なポイントを認識して取り組んでいくことが必要になります。
- ロールプレイを通じ、違った立場で考えることの難しさを実感されたと思います。
- 市民と地方自治体が相互に理解し、広い視点で津久井総合事務所の建て替えを考えていく必要があります。
- 次回（第4回）は本日の結果を踏まえて、資金面や運営面も確認し、現実として津久井総合事務所をどうしていくか検討していただきたいと思います。



(4) 第4回ワークショップ

- ◆ 第4回テーマ 「提案のまとめ」
- ◆ 開催日時 令和3年12月18日(土) 14時00分～16時00分
- ◆ 開催場所 津久井総合事務所3階 会議室1・2
- ◆ 参加者 19名
- ◆ プログラム

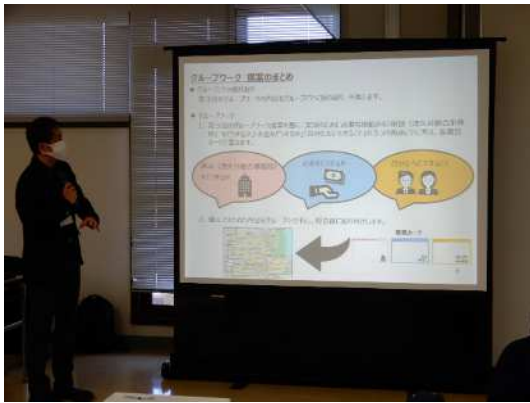
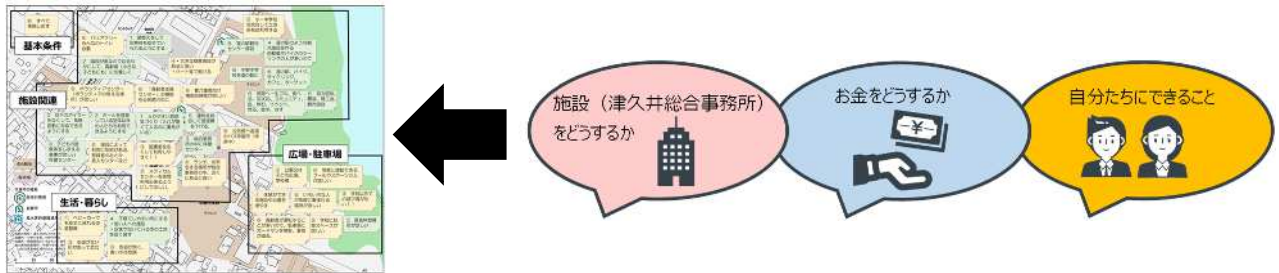
時間	内容
14:00～14:05 (5分)	<あいさつと振り返り> ・ファシリテーターのあいさつ ・これまでの振り返り
14:05～14:50 (45分)	<グループワーク：提案のまとめ> ・グループごとでの第3回の振り返り ・総合事務所周辺を中心とした新しい公共施設のあり方のまとめ
14:50～15:00 (10分)	<休憩>
15:00～15:10 (10分)	<芝浦工業大学学生からの発表> ・真下あい 卒業制作中間発表
15:10～15:25 (15分)	<発表・意見交換> ・グループごとに発表、質疑応答と意見交換 (5分×3グループ)
15:25～15:50 (25分)	<参加者全員からひとこと> ・ワークショップに参加してみて感じたこと(一人1分)
15:50～15:55 (5分)	<本ワークショップのまとめ> ・ファシリテーターによるワークショップ全体のまとめ
15:55～16:00 (5分)	<市からのあいさつと今後に向けて> ・市からのあいさつ ・今後の予定 ・アンケート記入

ア 当日の流れ

(ア) グループワーク

第3回のグループワーク成果を基に、実現のために必要な取組を「施設（津久井総合事務所）をどうするか」「お金をどうするか」「自分たちにできること」の3つの視点ごとに考え、各意見カードに記入しました。

記入した意見カードをグループ内で共有し、第3回成果物をデータ化した模造紙に貼り付け、提案としてまとめました。



(イ) 芝浦工業大学学生からの発表

真下あいさんの卒業制作の中間発表を行いました。

【内容】

「公共性を育む」というテーマで卒業設計を行っている。津久井湖から公共施設が集中しているエリアまでを一本の軸を通すように全体の建物を配置し、実際に歩くことで地域の歴史や時間の流れを感じることができるように設計した。

国道の北側は、「過去・歴史」ゾーンとし、自然に触れ、歴史を理解し、津久井の魅力を最大限感じることができるよう、津久井湖の展望デッキ、津久井湖資料館、尾崎琴堂展示館などを配置。

国道の南側は、「未来・再編」ゾーンとし、里山の公共施設群をイメージして既存の公共施設を再編。再編された公共施設群では、地域の人たちが生き活きと生活し、用事がなくても人が集まり、誰でも楽しむことができる。そして、新しいコミュニティが生まれて世代を超えた輪が広がっていく。

引き続き、津久井が持つ地域らしさや魅力がより感じられ、人が集まるコミュニティの中心となるような設計を行っていきたい。



(ウ) 発表・意見交換

グループごとにまとめた成果を発表しました。



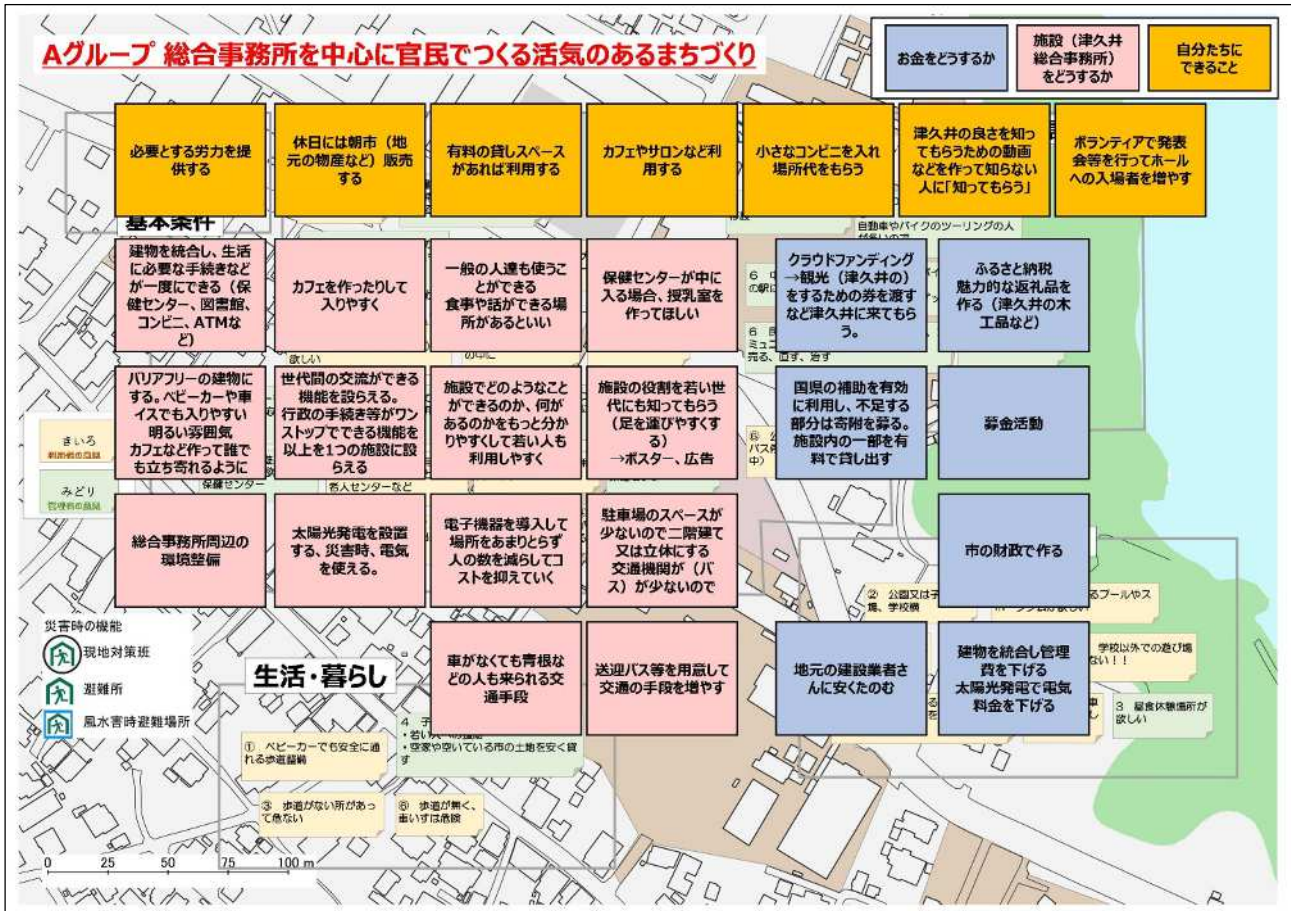
(エ) 参加者全員からひとこと

ワークショップに参加してみて感じたことを一人ずつ発表しました。



イ 各グループの成果

Aグループ



<主な発表内容>

視点	検討内容
施設 (津久井総合事務所) をどうするか	<ul style="list-style-type: none"> 建物を統合し、生活に必要な手続きなどが一度にできる（保健センター、図書館、コンビニ、ATMなど）
お金をどうするか	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税。魅力的な返礼品を作る（津久井の木製品など）
自分たちができること	<ul style="list-style-type: none"> 休日には朝市（地元の物産など）販売する

第4回ワークショップの意見まとめ（一部抜粋）

～視点①施設（津久井総合事務所）をどうするか～

（グループ）

項目	意見・アイデア
建物 （配置・機能・ デザイン等）	<ul style="list-style-type: none"> 世代間の交流ができる機能、行政の手続き等ができる機能を1つの施設にまとめる（A） 人口減が考えられるのでコンパクトにするのが良い（B） 今後数十年使用する施設のため、用途の変化に対応できる間取り等にする（C） カフェ、食事のできる場所が欲しい（A・C） 広々と明るく図書館などの少しゆっくりできるスペースも（C） 津久井産材を使った建物。水とみどりをイメージできる建物（C）
バリアフリー・ ユニバーサル デザイン	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリーの建物にする（A・B・C） ベビーカーや車いすでも入りやすい明るい雰囲気（A） 分かりやすい案内やサインで誰もが利用しやすく（A・B・C）
駐車場・交通	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場を広くする（A・B・C）
環境・エネルギー・ 防災	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電を設置する。災害時、電気を使える。（A） 土砂災害に強い施設（B） 省エネ仕様の建物（C）
その他	<ul style="list-style-type: none"> 総合事務所周辺環境整備（A）

～視点②お金をどうするか～

（グループ）

項目	意見・アイデア	
増やす・ 稼ぐ	資産活用	<ul style="list-style-type: none"> 土地を売る、使わない所を売る（B）
	貸付け・ 有料化	<ul style="list-style-type: none"> 小さなコンビニを入れ場所代をもらう（A） 施設の利用条件の見直し、有料化、利用率を上げる（C）
	寄附等	<ul style="list-style-type: none"> クラウドファンディング（A・B・C）
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 国・県の補助金を有効利用する（A・B）
減らす	建設 コスト削減	<ul style="list-style-type: none"> 建物を統合し、管理費を下げる。太陽光発電で電気料金を下げる（A） 施設を借りる。施設を合同して作る（B）
	運営コスト 削減	<ul style="list-style-type: none"> 光熱水費の削減（水を利用した空調システム、照明LED、自然光入る建物、グリーンカーテン、屋上グリーンルーフ、太陽光発電、風の通る建物等）（C） ペーパーレスの仕組みを考える（C）

～視点③自分たちにできること～

（グループ）

項目	意見・アイデア
施設を使う	<ul style="list-style-type: none"> 休日に朝市を開き、地元の物産など販売する（A） 部活動の発表など（吹奏楽の発表とか）（B） 手芸・焼き物とか得意なものを展示、販売する、バザーを開く（C）
運営協力・ ボランティア等	<ul style="list-style-type: none"> 必要とする労力を提供する（A） ボランティア活動、花を植える、美化活動に協力（B） 地域には色々な人材が居るので、それらを活用する計画を進める（C）
周知・PR	<ul style="list-style-type: none"> 津久井の良さを知ってもらうための動画などを作って、知らない人に「知ってもらう」（A） 津久井のPR、施設の特徴を広める（B） 学生で地域のPRを行って、映えスポットを見つけることで若い人にも興味を持ってもらう（C）

ウ 参加者全員からひとこと

Aグループ

若い人の声を聴きながら、これからの津久井のまちづくりに貢献していきたいと思います
ワークショップに参加し、色々考えていかなければいけないと思うようになりました
生活している上では気づかないことを深く知れたので、すごく楽しく、勉強になりました
自分の住んでいる街で何か新しい発見があったら覚えておきたいなと思いました
色々なジャンルの中で私も知らなかったなということ色々思わせていただきました
私が一番印象に残っているのは中野に水の通り道があるのを知ったことで、本当に勉強になりました

Bグループ

津久井に住んでいるけど知らなかった歴史などを知ることができ、楽しい時間を過ごせました
実現に向けてちょっといい形でモデルが見えてきたかなと思いました
これを機に、津久井のことをもっとたくさん知りたいなと思いました
自分にできることを何か少しでもやっていけたらと思いました
皆さんが親しみやすい、誰でも気軽に参加できる施設になれば良いと思いました
色々な方が集まり意見を出し合ったことで、非常に効果的なものができたと感じています

Cグループ

子どもたちが住みたいと思えるような、暮らしやすい、そして誇りに思えるような場所にしてほしいと思います
大学生の発表を見て、今まで自分が描いていた津久井を超え、すごく夢があると思いました
年代も様々な方たちの意見を聞けるという機会がなかなかなく、こうした機会を設けていただいていたと思います
世代を超えてワークショップをする中で、歴史を知り、そして将来性も色々感じることができました
行政と地域が協力してやっていけたら良いと思いました
新しい庁舎が完成するまで生きていたいと思います
是非、津久井高校と連携しながら色々なことが出来ればと思いました

志村先生：第4回ワークショップのまとめ

- 今回は「施設」「お金」「自分」の3つの視点で考えてもらいました。その中でも「自分たちにできること」というのはちょっとプレッシャーがかかるテーマでしたけど、まずは津久井、中野の魅力をアピールしていくというところが実はみなさん自信があるんですよ。それがすごく感じられて、一つの原動力になるのかなと思いました。
- 今回のワークショップでは、総合事務所を中心とした公共施設は、単なる事務的な窓口になるのではなく、ふらっと立ち寄りたくなる、里山の風景に調和して無理のない適正な規模と機能でシェアする、災害時の対応などといった重要なポイントが出ていたと思いますし、今後、市として考えていく基本的な方向性は明確になったという気がします。
- 公共施設の再編というのは長期間で何年もかかりますが、ぜひこのワークショップの成果を良い形で実現していただけたらと思います。皆さま本当にありがとうございました。



市長からのあいさつ

- 全4回にわたりご参加いただいた地域の皆さま、そして、ワークショップを支えてくださった志村教授をはじめ芝浦工業大学の皆さま、本当にありがとうございました。
- 皆さま一人一人の地域に対する想いや熱意を感じることができた温かみのあるワークショップだったと思います。地域の方がわくわくし、誇りを持てるような地域づくりに資する多くのご意見をいただきました。皆さまのご意見をしっかりと受け止め、今後のまちづくりに取り組んでまいります。
- 津久井という言葉は地域の皆さまだけでなく、市民にとっても誇りある言葉だと思っております。津久井地域の豊かな自然や文化・歴史をしっかりと次の世代につないでいくことが私たちの使命です。
- 公共施設の老朽化が全国的な課題となっておりますが、本市では行財政構造改革を進めながら、令和11年度には、津久井総合事務所を中心にこのまちが新しくなるよう、皆さんと一緒にまちづくりを進めてまいります。



3. まちかどパネル展の概要

(1) 開催概要

ア 開催の目的

津久井総合事務所を中心とした公共施設の再編・再整備に向け、今後基本構想や基本計画を策定するに当たり、広く地域住民の方にこの取組を知っていただくとともに、津久井総合事務所を中心としたこれからの公共施設のあり方についての意見やアイデアを募集するため、まちの中の施設の一角において、パネル等を用いたオープンハウス型説明会を実施するものです。

イ 実施時期及び場所

実施日	時間	場所
令和4年2月27日(日)	午前10時 ～午後4時	ダイエー津久井店
3月3日(木)		店舗正面スペース
3月12日(土)		津久井中央公民館
3月16日(水)		1階ホワイエ前

※パネル自体は、3/12～3/22の間、津久井中央公民館に常設

ウ 実施方法

(ア) パネル展示

- ・ 公共施設を取り巻く現状と課題
- ・ 公共施設マネジメントの取組
- ・ 津久井地区の地域課題等
- ・ 津久井総合事務所周辺を中心とした公共施設の再整備に向けた取組
- ・ 市民対話ワークショップの概要と成果
- ・ 芝浦工業大学学生発表資料

(イ) 意見聴取

会場周辺にいる方にアンケート用紙を配布し、これからの津久井総合事務所を中心とした公共施設のあり方に関する質問に回答してもらいました。

<開催の様子>

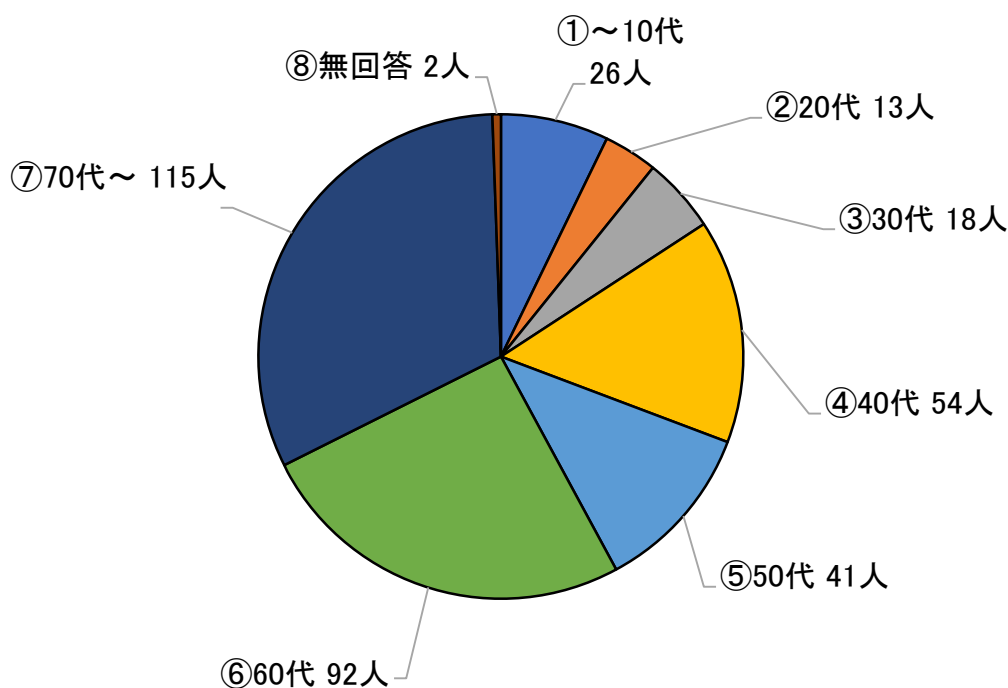


(2) 開催結果

ア アンケートの分析結果

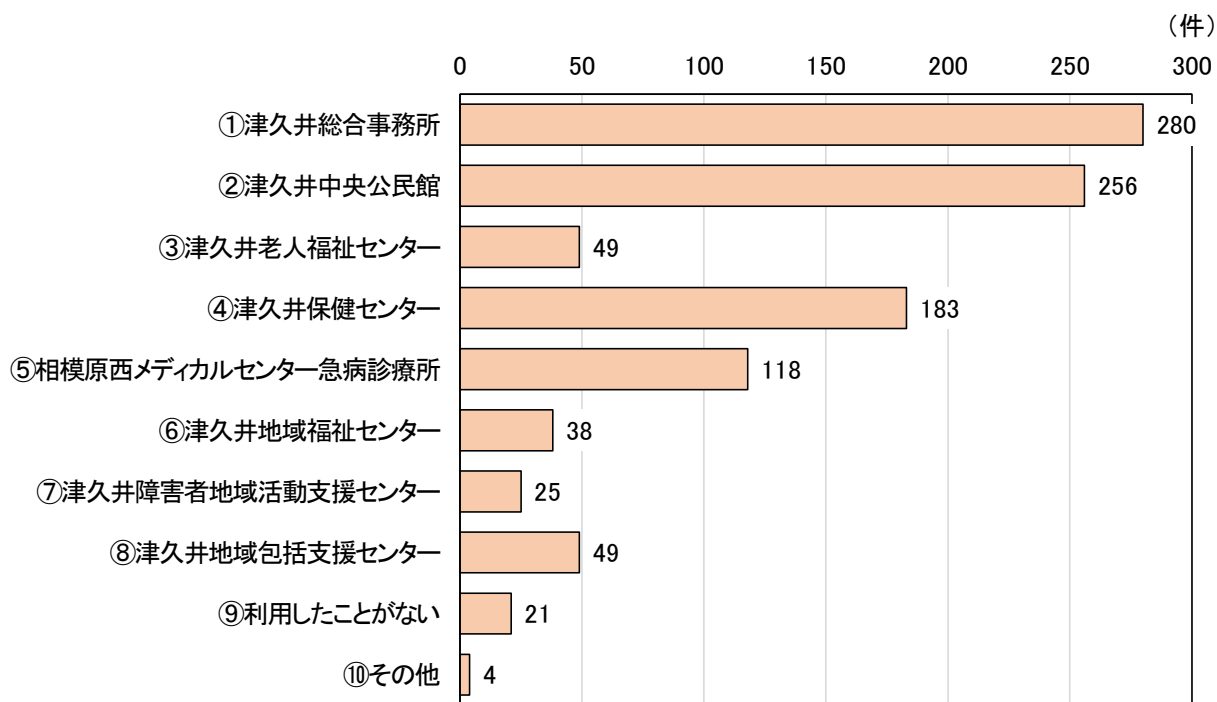
- 4日間の実施で 361 名の方にアンケートの回答を頂きました。
- アンケートの結果から回答者の多くが 60 代・70 代以上の方で、10～30 代の回答者が少なかったことが分かりました。
- 津久井総合事務所周辺で利用したことのある公共施設は、津久井総合事務所、津久井中央公民館、津久井保健センターを利用したことがあるという回答が多くありました。
- 津久井地区の魅力は自然や自然を生かした観光資源がたくさんある、総合事務所周辺に公共施設やスーパーなどが集まっっていて便利と感じている人が多いことが分かりました。
- 津久井地区の課題は人口が減っており、子どもや若い人が少ない、飲食店が少ない、公共交通が少なく不便と感じている人が多いことが分かりました。
- 重要だと思う視点としては、気軽に立ち寄りやすい、災害に強い、みんなにやさしい（バリアフリー）などを求める意見が多いことが分かりました。
- 必要だと思うサービス・機能としては、一箇所でまとめて手続きができる窓口、医療や福祉サービス、子どもに関するサービスの充実、災害時に避難でき、物資を保管できる場所、交通アクセスなどを求める意見が多いことが分かりました。

問 1. あなたの年代を教えてください。(〇は一つ)



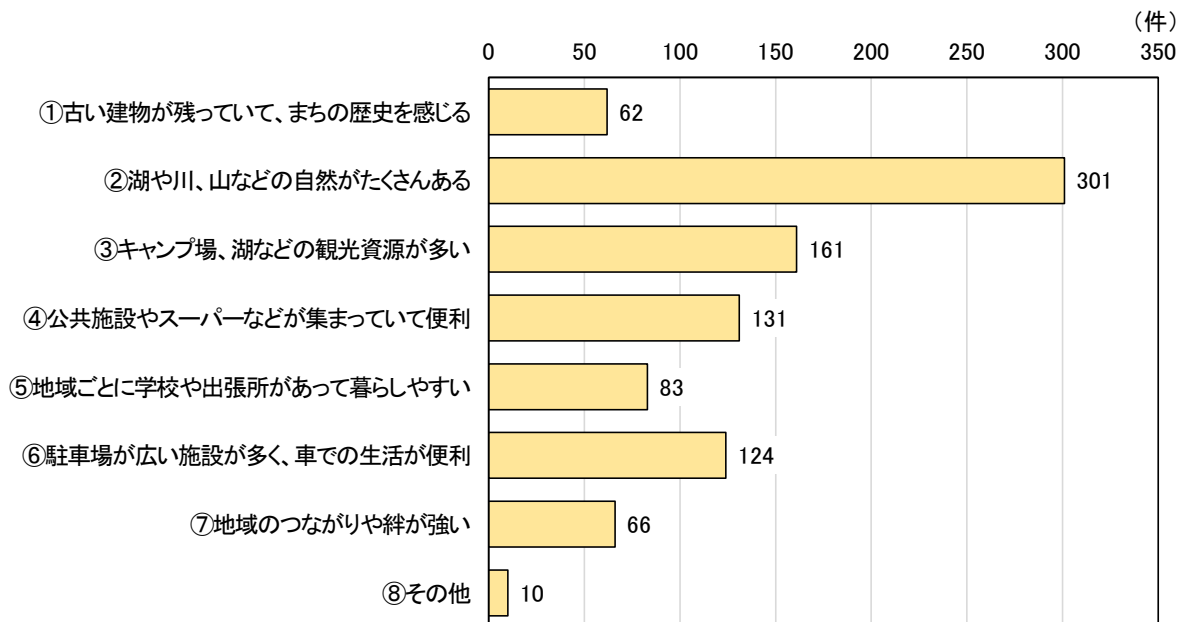
問2. 津久井総合事務所周辺で利用したことのある公共施設を教えてください。

(○はいくつでも)



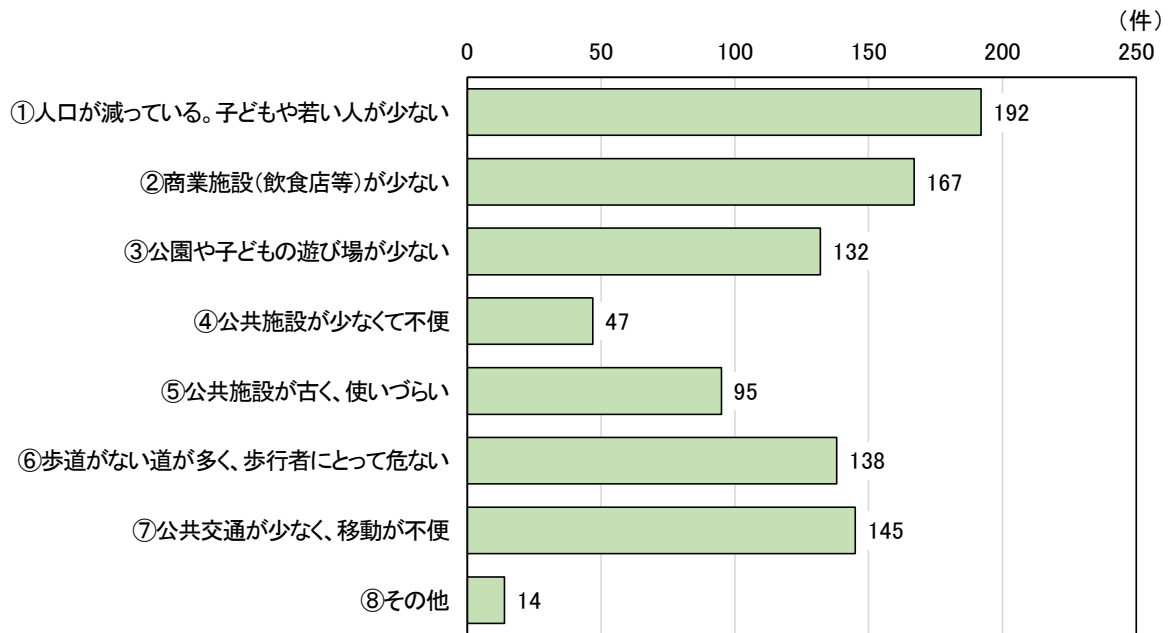
※無回答4人

問3-1. 津久井地区や津久井総合事務所周辺の魅力を教えてください。(○はいくつでも)



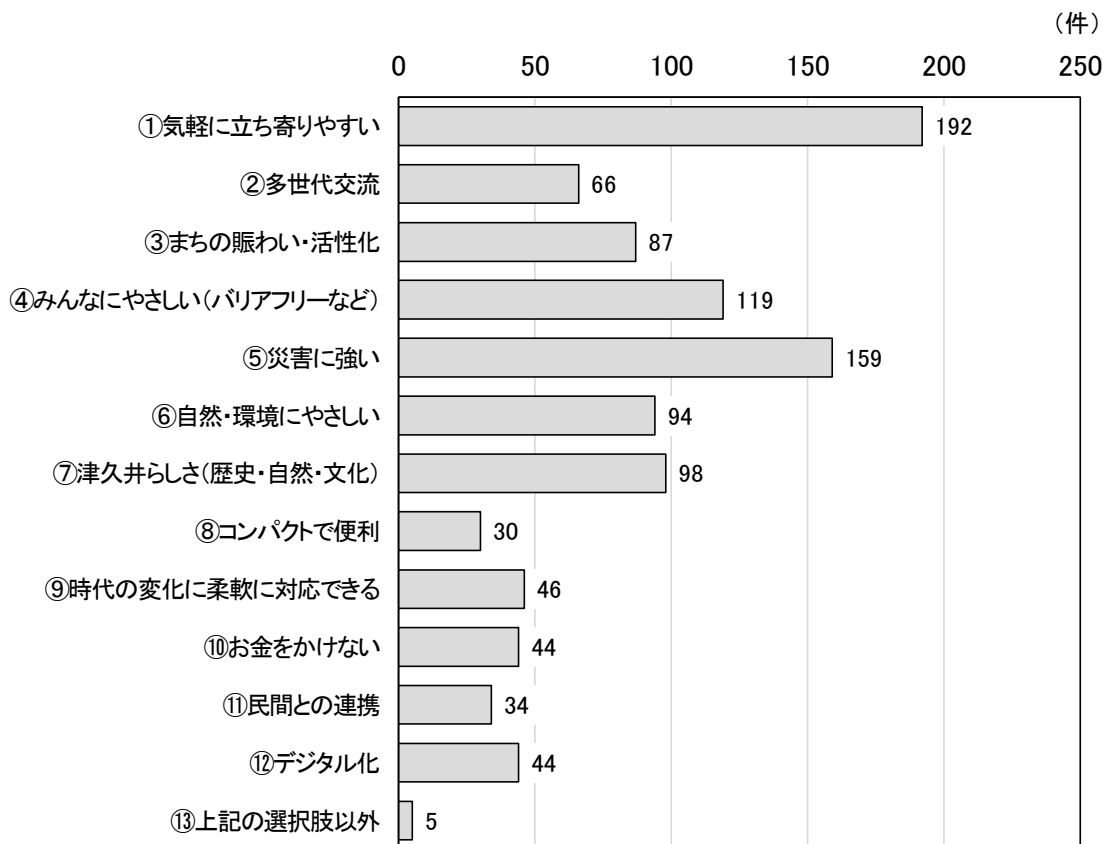
※無回答6人

問3-2. 津久井地区や津久井総合事務所周辺の課題を教えてください。(〇はいくつでも)



※無回答 17 人

問4-1. これからの津久井総合事務所を中心とした公共施設の再整備を考える上で、重要だと思う視点・キーワードを教えてください。(〇は3つまで)

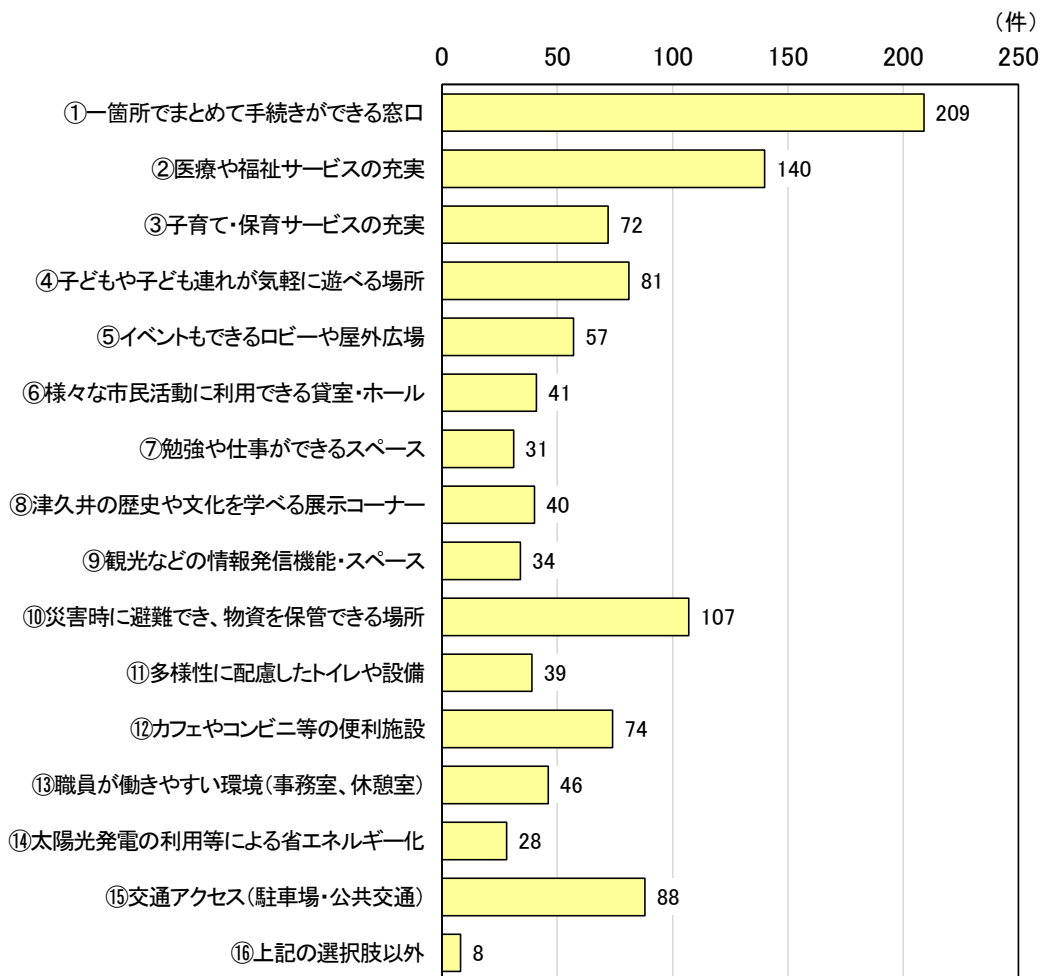


※1 無回答 9 人

※2 4 つ以上回答した方 41 人を含む

問 4 - 2. これからの津久井総合事務所を中心とした公共施設の再整備を考える上で、必要・重要だと思うサービスや機能、設備などを教えて下さい。

(〇は3つまで)



※ 1 無回答 7 人

※ 2 4 つ以上回答した方 41 人を含む

問5. その他、ご意見やご感想があれば、自由にご記入ください。

山歩きできる場所があるのに草刈りをきちんとしていないので、そこが残念
相談窓口を増やし、まとめて手続き、対応して欲しい
息子が独身なので、お見合いなど交流の場
駐車場の広さを確保する（イベントがあるといっぱいになる）
楽しい町づくり頑張ってください
少子高齢化が進むにつれて、一世帯の家族も減少し、場合によっては空き家となるケースもあると思う。こうした世帯を多世代交流事業に加わってもらえる仕組みや空家をリノベーションして活かす工夫をし、民間資本の導入も重要だと思う。地元の小・中・高を（公共施設の再整備をきっかけに）地域のネットワークに取り込んで協働の場を一層広げたい。
寺社、カフェ、縁日など気軽に楽しめる場所があれば良い
津久井を通りすぎる人は多くいます。しかし、この津久井を記憶にとどめる方は皆無です。この町に住んでみたくなる様なステキな町を作ってください。
自然を生かした環境づくり（歩道）
青原、青根等の地域の過疎化対策、山林等の荒廃や地域高齢化対策に取り組むこと。
コンビニ・保育室・救急施設・図書室・カフェ等が入ったのを望む。
高齢者に対する配慮。三井地区に住んでいますが、災害時避難場所が遠い（三井の橋を渡らなければならない）ので行くことが困難。特に車いすの方は無理だと思う。
これからも津久井地区でいろいろな手続きを含め利用したい。
明るい建物になってほしい。
リニアにともなう津久井の発展を望んでいます。
小網の避難所がひとつしかない。津久井中野と一緒にしてほしい。
合併してから不便。国道だけでなく住宅地（道幅が狭いところ）の除雪も充実してほしい。
ありがとうございました。
危ないという理由で公園の遊具がどんどん無くなっている。公園が少なく活性化に欠けている。遊具や子どもの遊び場所を充実させてほしい。通学路のガードレールの設置を1年以内に希望します。
勉強スペースがほしい。
文房具屋さん。
勉強する場所がほしい。
文房具屋さん。
現在、津久井地域福祉センターを使わせて頂いていますが、高齢者（現在）が元気でいられる様しばらく何年間は使用できるようにお願いします。
津久井地域福祉センターを現在使用しています。高齢者の方が楽しみにしておりますので、無くなるのは困ります。見直しをお願いします。
津久井の中心的エリアとして大手スーパーや直売所・警察・学校等があり、相互間の連携により経済・観光等、様々な面での活性化が望めるような地域になればと思います。
住民の方の意見がしっかり出ているので、今後の判断材料として活用していければと思います。

打合せする部屋
津久井地区だけで考えるのではなく相模湖・藤野地区を考慮した町づくりを考えないと？
子供支援センターや遊具がある公園が近くにほしい
地域の方の移動支援をぜひ充実させてほしい。
三ヶ木の学習センター内の子どもの広場が小さすぎる 町田市のおぼ（児童館）など見習ってほしい！！ 運動場も制限が多い、又野グラウンドなどサッカー場を使いたい 学習センターの体育館を使いたい（子どもたちが）
図書館の充実、勉強スペースが欲しい。
一箇所に行政、文化、福祉施設があるとよい
モノレール橋本～プレジャーフォレスト 道の駅 広い場所
公民館図書館に、開館時間以外も返却できるポストを置いてほしい
子育て世代にアピールできる様に
問 4-1 に④を選びました、問 4-2 では③④⑦も重要だと思う。
市の施設が立派であればシンボルとなり、利用する場面も増えると思います。
お店がほしい
津久井湖など美しい景観を活かし、藤野町のように、カフェや行きたいお店がふえてほしいです。
新しい施設と津久井地域の人のつながりの両立→なくさないでほしいです
水曜日に近隣の飲食店が定休日なので、コンビニ、やカフェ（ドトールとか）が近くにあると、うれしい。
駐車場で止められる台数が多い方がよい。
トイレがきれいになってほしい。
きれいなトイレが良い。
利用者を増やして

※ 個人の特定ができる可能性のある意見を除き、原則すべての意見を原文のまま掲載しています。

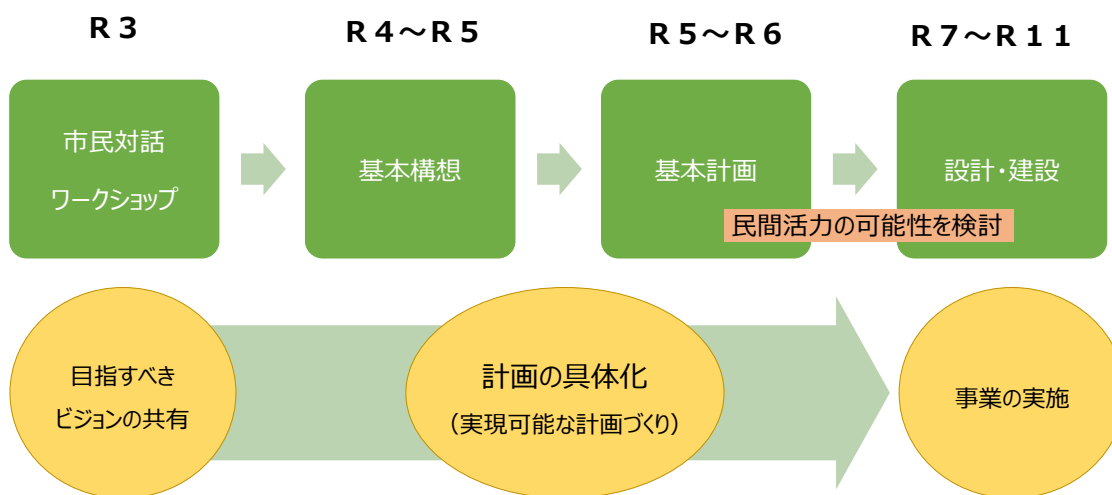
4. ワークショップ・まちかどパネル展を終えて

施設の老朽化の状況を踏まえて、現時点では、令和11年度の供用開始を目標とします。今後は、今回の市民対話ワークショップの提案やまちかどパネル展での意見を踏まえ、市として、津久井総合事務所周辺の公共施設の再編・再整備に向けた基本的な考え方（基本方針）をまとめます。

基本方針は、現在、策定に向けて取り組んでいる「市公共施設マネジメント推進プラン・アクションプログラム」の市民参画事業のリーディングプロジェクトとして位置付けます。

令和4年度以降は、市民検討会を設置し、基本構想の策定に向けた検討を進めるなど、実現性を考慮しながら計画の具体化や実施内容の選択を行い、事業の実施へつなげていきます。

<事業全体のスケジュール>



※今後の検討状況等により、スケジュールは変更となる場合があります。

<直近の取組>

